

さかど

# ロイヤルの園だより

発行  
(福)栄光会  
さかどロイヤルの園  
坂戸市大字森戸 739-1

## 「面会再開」

四層亜麻のくだり  
介護職員

五月より面会制限の緩和により、以前とは違いお部屋でお会いできるようになりました。お部屋に入れる人数に制限はありますが、普段暮らしているところで大好きなご家族と過ごせるのは、とても良いことだと感じます。以前は場所を移動していただいていたの面会や窓越しの面会で思うようにお話しが出来なかったり必要以上に大きな声でないと伝える事も出来なかったりとご不便をお掛けしていました。

あるご入居者のご家族はお部屋を見て「ああ、こういう造りになっているんだね、初めて見たよ」と話されていました。コロナウイルス対応中にご入居された方はそう感じるのかと思います。四層では居室に行事時の写真が飾ってある方もいれば、書道に参加されご自身で書いた文字が飾ってあったりファイルには行事時の写真が綴じ込んであります。ぜひ面会の際はご覧になってください。ご家族と過ごせる時間はまだまだ短いですが、外気浴をして戻られた際は皆様とても嬉しそうに話してくださいませ。ご面会をお待ちしております。

## 「体操」

三層浅緑のくだり  
介護職員

私の所属するユニットでは新たなご入居者の入居もあり、ユニットの雰囲気が変わったのを感じます。皆さんそれぞれに個性があり、同じような毎日でも少しずつ違った日常の光景が見られています。

ユニットでは一〇時前後にコーヒータムがあります。丁度その頃、ウィークデーはNHK総合テレビで「みんなの体操」の放送があります。ご入居者の皆さんがリビングに集まるので、コーヒータムを飲む前に体操を行うことがよくあります。率先して体操を行う人、体操をしている人を見て一緒に体を動かしている人と様々です。テレビでの体操の先生に合わせて体操を行っている姿は活気があつていい雰囲気です。

ラジオ体操を行うこともあります。皆さん覚えていらっしゃるでしょう、音楽に合わせて自然と体を動かしていらつしやいます。昔、子供の頃に覚えたことはいくつになっても体で覚えていたものなのでしょう。日々、少しの時間でも体を動かせる機会を設けていければと思います。

## 「ムクドリ」

三層亜麻のくだり  
介護職員

五月と言えば、こどもの日を始めゴールデンウィークが頭をよぎりますが、私の場合はムクドリなのです。ムクドリはスズメよりも大きく鳩よりは小さく、くちばし

は黄色で当たり前ですが尖っています。鳴き方は「ギーギー」と鳴くのですが警戒している時は「グエーグエー」と鳴きます。どちらにしてもとてもうるさいです。そのムクドリが去年から我が家の使用してない雨どいに巣を作ってしまったのです。気付いた時には雛の鳴き声もしたため退治も可哀相で出来ませんでした。雛の所にお世話にくる親鳥と、カラスとかを見張る親鳥と。しかも雨の日もちゃんと雛の所に来ていました。「うるさいなあ」なんて思っていました。が感心させられることもありました。そのムクドリがなんと今年も同じ場所へやって来たのです。もうビックリです。ただ、ムクドリの巣を作ることその家には厄災が寄り付かないとか縁起の良い事とも言われているのでそれを信じたいと思います。

さかどロイヤルの園もこの季節になるとツバメがやってきます。今年も朝からツバメたちの元気な鳴き声が聞こえます。ツバメの巣も縁起がいいと有名ですよ。毎年同じ場所に来るといことは、ここは安全だと分かっているのだと思います。雛鳥が立派に巣立つのが見られるといいなと思っています。

## 「四層亜麻・鵜」



### 「ご入居者の笑顔」

二層浅緑のくんだり  
介護職員

先日のことでした。ここ最近では落ち着いて過ごされていたご入居者が、入居された頃のように、「お家に帰りたいんだけど...」と帰宅願望が顕著に聞かれるようになりました。言葉が出てくるだけならまだ良いのですが、他のご入居者の部屋へ入られ、怒られてしまうと更に気持ちが不安定になられてしまい、悪循環でした。介護の現場ではそんなことは日常茶飯事ですが、さてどうしたら安心していただけるだろうかかと考えました。「今度ご家族に聞いてみましょう」や、「今日は日曜日だから送迎がお休みなんです」など、色々と説明を試みるものの、人生の大先輩のご入居者には通用いたしません。そんな時、屋上まで散歩にお連れしたことがありました。すると「あ、初めて屋上に連れてきてもらった。気持ちがいいね」と今までとは別人の笑顔を見せてくださいました。

### 「面会」

事務所  
事務員

五月から面会制限の緩和に伴い、長らく叶わなかった居室での対面の面会が再開しました。久しぶりの直接対面に嬉しそうにお話をされる様子や印象的で、私も心温まる思いで見守らせていただいています。ご家族とのふれあいが、

ご入居者の活力や安心につながっていると改めて感じました。ご家族にとっても直接お話しできる時間は、かけがえのないものかと思えます。

ご入居者の健康と安全を最優先に感染症対策を継続して実施してきました。制限付きではありますが、数年ぶり対面での面会が実施でき嬉しく思っています。コロナ禍を経て、高齢者への感染の怖さを痛感してきました。感染対策と面会のバランスは難しい問題だと思えますが、これからも対面での面会を継続していけるように感染対策を大切にしながら、ご家族とのつながりを深め、ご入居者が施設で安心して暮らしていけるように努めていきたいと思えます。

### 「母の日喫茶」

二層亜麻のくんだり  
介護職員

初夏を迎えたとはいえ今年はずっと早くジメジメとした空気がなってきたように思います。もはや早めの梅雨を思わせる五月となりましたが、今年も母の日を迎え二層亜麻・鶺鴒ユニットでは母の日喫茶を開催いたしました。プレゼントカードとカーネーションの生花を女性入居者の皆様へプレゼントさせていただきました。その後、ご入居者全員でショートケーキを召し上がられました。皆様プレゼントカードを観て笑顔を見せたり、美味しそうにケーキを召し上がるなど、楽しんでいただけたと思います。六月には父の日喫茶も開催いたします、楽しんでいただけるイベントを計画していきたいと思えます。

### 「二層亜麻・鶺鴒 母の日喫茶」

